



広報

Public Relations

# いずのくに

【お知らせ版】  
最終号

<http://www.city.izunokuni.shizuoka.jp>

2008

# 5/15

No.76

## 六月一日号から 広報が変わります

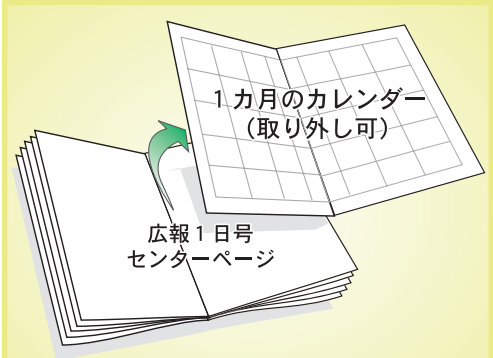
広報いずのくに十五月号

（お知らせ版）の発行終了

四月十五日号、五月一日号でもお知らせしたとおり、『広報いずのくに』をより充実させるため、この五月十五日号で「お知らせ版」の発行を終了します。今後は、一日号（冊子版）に発行を統一し、主に自治会経由の回覧などにより配布していきますので、市民の皆さんのご理解、ご協力をお願いします。

一日号のパワーアップ

新しく統一する一日号（冊子版）では、これまで十五日号に掲載していた『月のカレンダー』をセンターページにはさみ込みます。『月のカレンダー』は、取り外して使用することができ、ご自宅の壁に貼るなどして、毎月のイベント・行事予定、休日の診療当番医などを確認いただけます。（六月一日号から）



カレンダーをはさみ込み（イメージ）

また、従来のお知らせや連載記事のほか、定期的の特集記事などの企画を盛り込んで、今まで以上に市政が分かりやすく、皆さんのためになる『広報いずのくに』へとパワーアップします。どうぞご期待ください。

新しい広報いずのくにを

手に入れるには

自治会（区）経由で…

自治会（区）に加入している人は、今までどおり回覧等で各家庭に配付されます。自治会に加入していない人で『広報紙を自宅まで届けてほしい』という場合は、自治会（区）へ加入しなくてはなりません。

自治会の会費や規則は各地区によって決められていますので、詳しくはお住まいの地区の組長や区長にお問い合わせください。

市内各施設で…

市内各施設のラック（別表）に『広報いずのくに』が置いてありますので、そちらまでお出かけいただき、お持ちください。なお、各施設のラックは時期により品切れすることがありますので、その場合は、市役所伊豆長岡庁舎、市役所葦山庁舎、市役所大仁庁舎へお越しただければお渡しできます。

### 別表『広報いずのくに』配布施設一覧

『広報いずのくに』をどなたでも自由にお取りいただけるよう、下の公共施設、郵便局や金融機関、民間施設等の窓口やラックに置いていただくようお願いしています。（平成20年5月15日現在）

伊豆長岡地区	葦山地区	大仁地区
市役所伊豆長岡庁舎 市役所伊豆長岡庁舎別館 あやめ会館 アクシスカつらぎ 長岡図書館 長岡温水プールサンゆう 湯らっくすのゆ 伊豆長岡郵便局 三島信用金庫 長岡中央支店 静岡銀行 伊豆長岡支店 JA伊豆の国 長岡支店 JA伊豆の国 古奈支店 JA伊豆の国 江間支店	市役所葦山庁舎 葦山農村環境改善センター 葦山福祉保健センター （伊豆の国市社会福祉協議会） 葦山時代劇場 葦山図書館 めおと湯の館 伊豆箱根鉄道葦山駅 三島信用金庫 葦山支店 スルガ銀行 伊豆長岡支店 JA伊豆の国 奈古谷支店 JA伊豆の国 原木支店 JA伊豆の国 葦山支店 JA伊豆の国 北条支店 JA伊豆の国 南部支店	市役所大仁庁舎 大仁市民会館 中央図書館 大仁保健センター （伊豆の国市シルバー人材センター） 大仁郵便局 田京郵便局 JA伊豆の国 田中支店 JA伊豆の国 大仁支店 JA伊豆の国 浮橋支店 アピタ大仁店 （1階南側エスカレーター乗り場）

\*各施設のラックは、時期により品切れすることがあります。その場合は、市役所各庁舎へお越しください。



アピタ大仁店のラック

### 質の高い農村空間を 農業活動拠点施設落成

市内の農業活性化を目的に、県が県営農村振興総合整備事業の中で整備を進めていた農業活動拠点施設が長崎地区に完成しました。

四月四日に、県と市、市議会、長崎区の役員らが出席し



テープカットで落成を祝った出席者

て落成式を開催しました。施設の鍵が、東部農林事務所長から市長へ、市長から久保田長崎区長へ手渡されました。

式典が終わると、出席者が施設内を見学しました。県はこれまでこの事業で市民農園や公園施設などを整備しており、今回は、市内でも農業や農業交流が盛んな長崎地区に拠点施設を整備しました。施設は鉄骨二階建てで延べ床面積二百九十平方メートル。研修室や厨房を備えています。

指定管理者として管理にあたる長崎区の久保田区長は、「施設にふさわしい事業や活動をする決意でいる」と述べました。

### 矢田さん経産牛のブランドチャンピオンに 中部日本ブラック&ホワイトショウ

四月十六日に御殿場市で乳牛の品質を競う『第三十三回中部日本ブラック&ホワイトショウ』が開催され、中部地方十六県から百八十一頭が出場しました。

未経産二部で高橋康明さん（田中山）が、経産十一部では矢田修さん（宗光寺）が優勝したほか、経産牛総合で、矢田さんがグランプリを受賞しました。経産牛とは子どもを産んだ牛のことで、牛の年齢別に体格や乳頭部の形などの優劣を競いました。

四月二十四日、優勝報告に市役所を訪れた矢田さん親子と高橋さんは、この大会のレベルの高さを語り、「グランプリが静岡県の牛で取れたことは久しぶり。牛はとても神経質。会場に連れて行って一



受賞の報告をした矢田さん親子（左一人）と高橋さん（右）

晩で調整するのは難しい」と受賞の苦労を話しました。